



三田中だより

令和7年度4月号

令和7年4月9日

港区立三田中学校

雑草という名前の草はない

～ 個性を伸ばし生きやすい社会に ～

校長 上原 良枝



いよいよ新しい年度 令和7年度が始まりました。昨日は123名の新入生が入学し、三田中学校は1年生4学級、2年生3学級109名、3年生3学級91名の全校で323名が在籍する中学校となりました。

先月末に満開となった桜は、満開の状態が何とか維持され、昨年に続き桜の開花中に行う入学式となり、嬉しく思います。校庭奥の満開の桜の下で、新入生とご家族が記念撮影をしている様子が見られ、桜が開花中の入学式で良かったと心から思いました。

ところで「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」という諺(ことわざ)を知っていますか。新年度早々過激な言葉

かもしれませんが、これは個性に応じた手の掛け方をすることの重要性を言った諺です。

桜は、枝の切り口から菌が入りやすく腐りやすいため、むやみに剪定(せんてい)をしてはいけません。一方、梅は無駄な枝を切ってやらないと樹形が崩れてしまい、良い花や実がなくなってしまう。特に梅は、花を育てるのに適した剪定と実を育てるために適した剪定は違ってくるのです。似たように見えるものでも扱い方によりその後の方向性が変わってくることを理解して、物事は正しい方法で進めることが大切です。

また、「雑草という名前の草はない」という植物学者である牧野富太郎博士の名言があります。2年ほど前に朝ドラのモデルにもなった博士です。どんな植物にも名前があり違いもあり、それぞれが自分にふさわしい場所で生きていることを教えてくれました。

これら植物から引用された言葉の中に、私はそれが人の成長や社会と共通点があるように感じます。人は一人一人違った個性があります。そして、それが生きていくことの大切さや現代に通じる多様性の価値を認め、特性を等しく尊重する社会にもつながります。そういった社会が、生きやすい社会と言えるでしょう。

三田中学校ではこのように、それぞれの生徒のもつ良い特性をさらに伸ばし、過ごしやすい学校生活の環境を整えてまいります。学習では「個別最適な学び」を進め、「協働的な学び」と併せながら個に応じた目標を設定した「複線型進度学習」を取り入れてまいります。

三田中学校は、コミュニティ・スクール2年目となりました。ますます地域と一体になって特色ある学校づくりを進めてまいります所存です。

令和7年度も、地域が誇れる学校として、活力ある温かい学校をつくっていただけるように、努力してまいります。皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

☆4月～5月上旬の主な予定☆

4月9日(水) 対面式・避難訓練・生徒写真撮影	4月21日(月) 認証式
4月10日(木) 部活動説明会(生徒)・安全指導	4月23日(水) 眼科健診(全学年)
4月11日(金) 身体計測(ジャージ登校)	4月25日(金) 内科検診・結核検診(2年)・PTA 歓送迎会
4月15日(火) 第1期時間割開始・専門委員会・中央委員会 腎臓検診一次	5月1日(木) 歯科検診(1年・2-1)
4月17日(木) 全国学力・学習状況調査(3年)	5月2日(金) 生徒会報告・心臓検診(1年)
4月18日(金) 教育相談(～4/28)	5月8日(木) 歯科検診(2-2, 2-3・3年)
4月19日(土) 授業公開日・保護者会・評価説明会	5月9日(金) 中間考査(5教科)各教科25分・専門委員会